丹波市地震ハザードマップ

氷上・柏原版

保存版

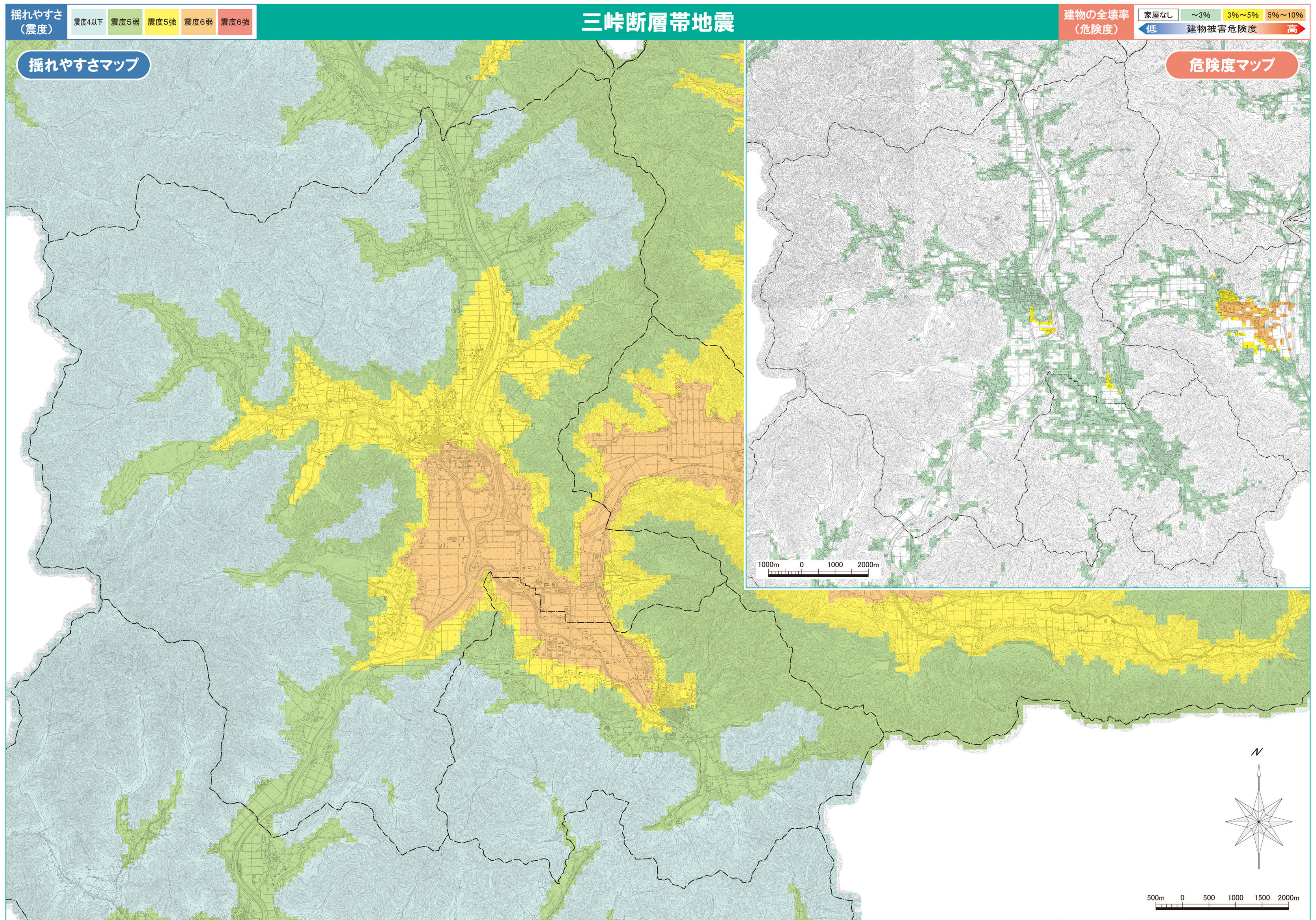
揺れやすさマップ	丹波市に影響を与える地震が発生した場合、どのくらいの震度が予想されるかを示したものです。
危険度マップ	丹波市に影響を与える地震が発生した場合、どのくらいの建物被害が予想されるかを示したものです。

三峠断層帯地震

揺れやすさ（震度）: 震度4以下　震度5弱　震度5強　震度6弱　震度6強

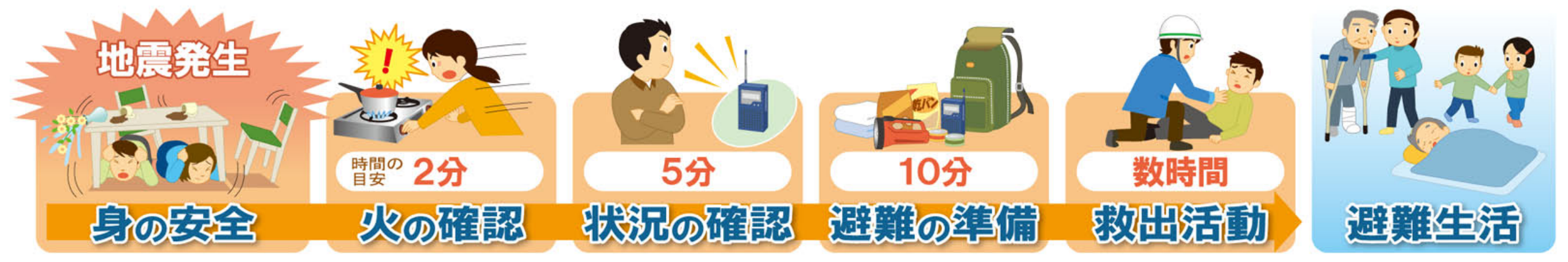
建物の全壊率（危険度）: 家屋なし　～3%　3%～5%　5%～10%

低 ← 建物被害危険度 → 高


揺れやすさマップ
危険度マップ
1000m 0 1000 2000m
N
500m 0 500 1000 1500 2000m

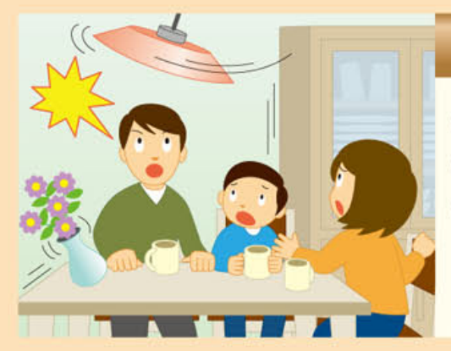
地震が起きたら

地震発生時は、あわてず、落ち着いて、身の回りの安全を確認しましょう。


地震発生
身の安全
時間の目安 2分
火の確認
5分
状況の確認
10分
避難の準備
数時間
救出活動
避難生活

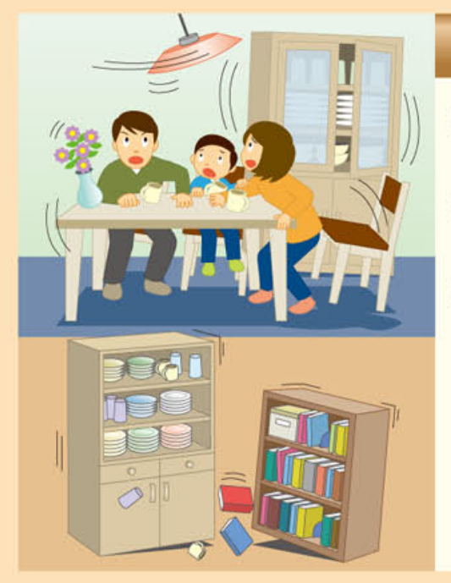
震度と揺れの状況

震度 4



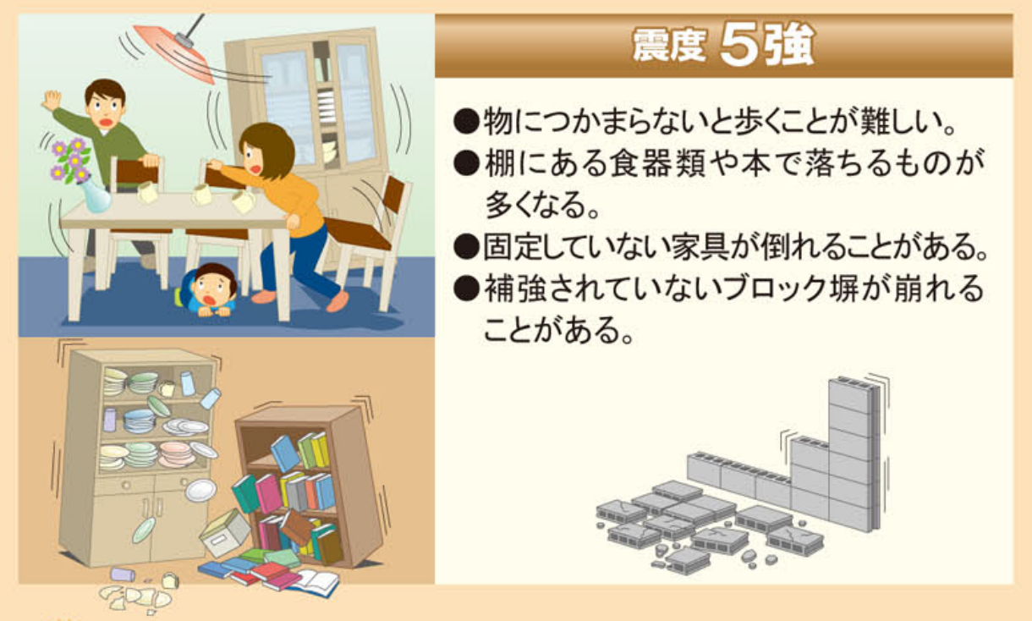
- ●ほとんどの人が驚く。
- ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- ●座りの悪い置物が、倒れることがある。

震度 5弱



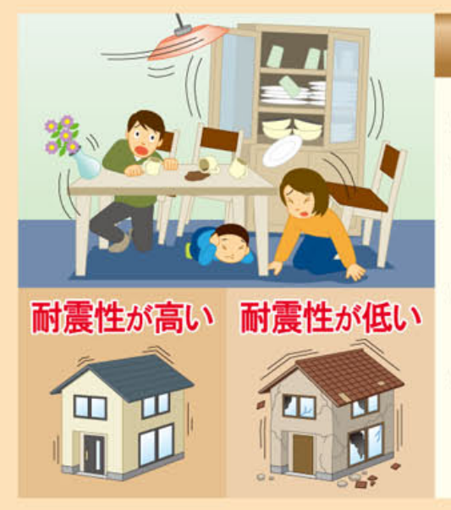
- ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- ●棚にある食器類や本が落ちることがある。
- ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度 5強



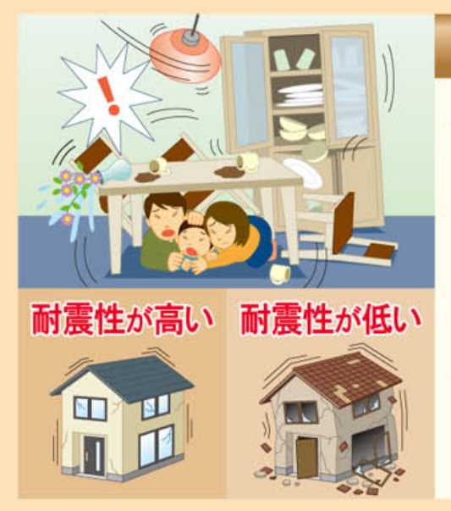
- ●物につかまらないと歩くことが難しい。
- ●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- ●固定していない家具が倒れることがある。
- ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度 6弱


耐震性が高い
耐震性が低い

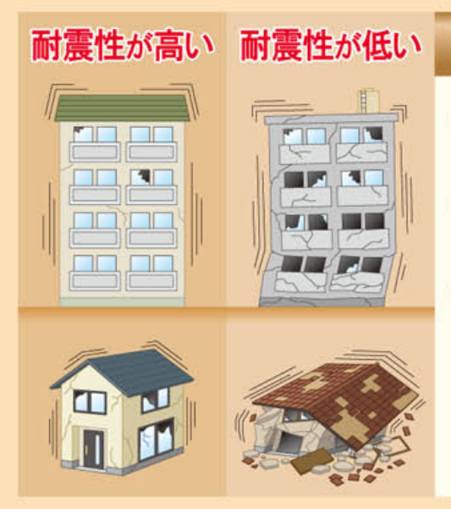
- ●立っていることが困難になる。
- ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度 6強


耐震性が高い
耐震性が低い

- ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

震度 7


耐震性が高い
耐震性が低い

- ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

緊急地震速報を見聞きしたら…

家庭では…

- ●頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる。
- ●あわてて外へ飛び出さない。

屋外では…

- ●ブロック塀の倒壊等に注意。
- ●看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる。

人がおおぜいいる施設では…

- ●係員の指示に従う。
- ●落ち着いて行動。
- ●あわてて出口に走り出さない。

自動車運転中は…

- ●あわててブレーキをかけない。
- ●ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止。

鉄道・バス乗車中は…

- ●つり革・手すりにしっかりつかまる。

エレベーターの中では…

- ●最寄りの階で停止させすぐに降りる。

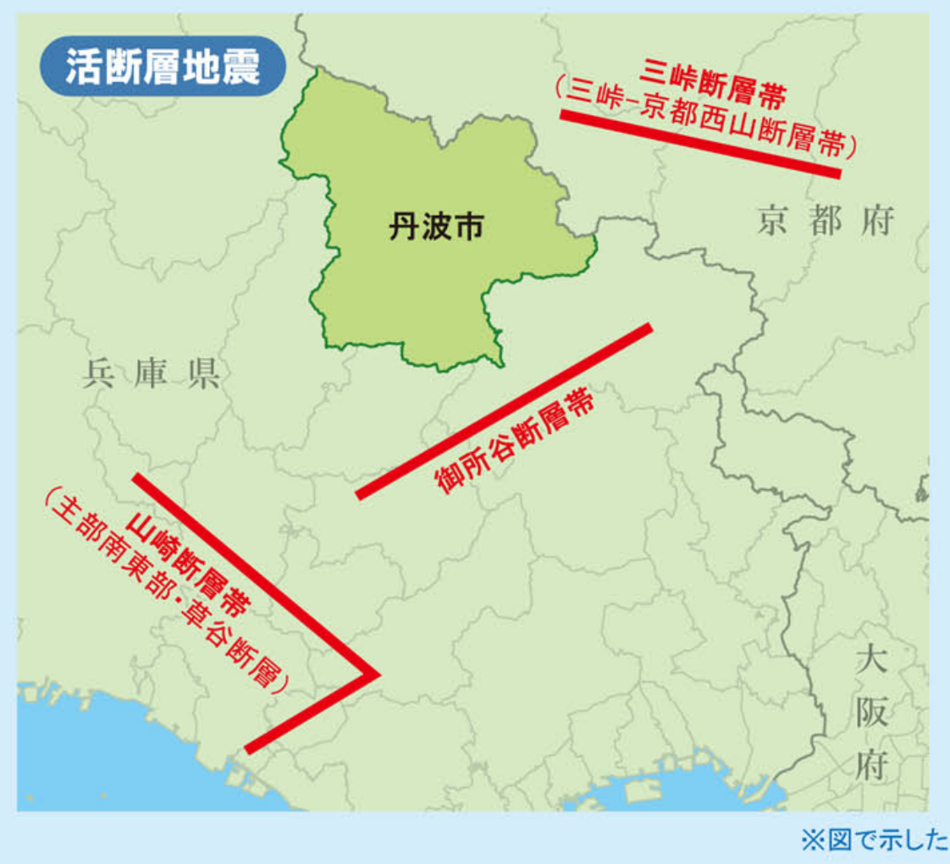
山やがけ付近では…

- ●落石やがけ崩れに注意。

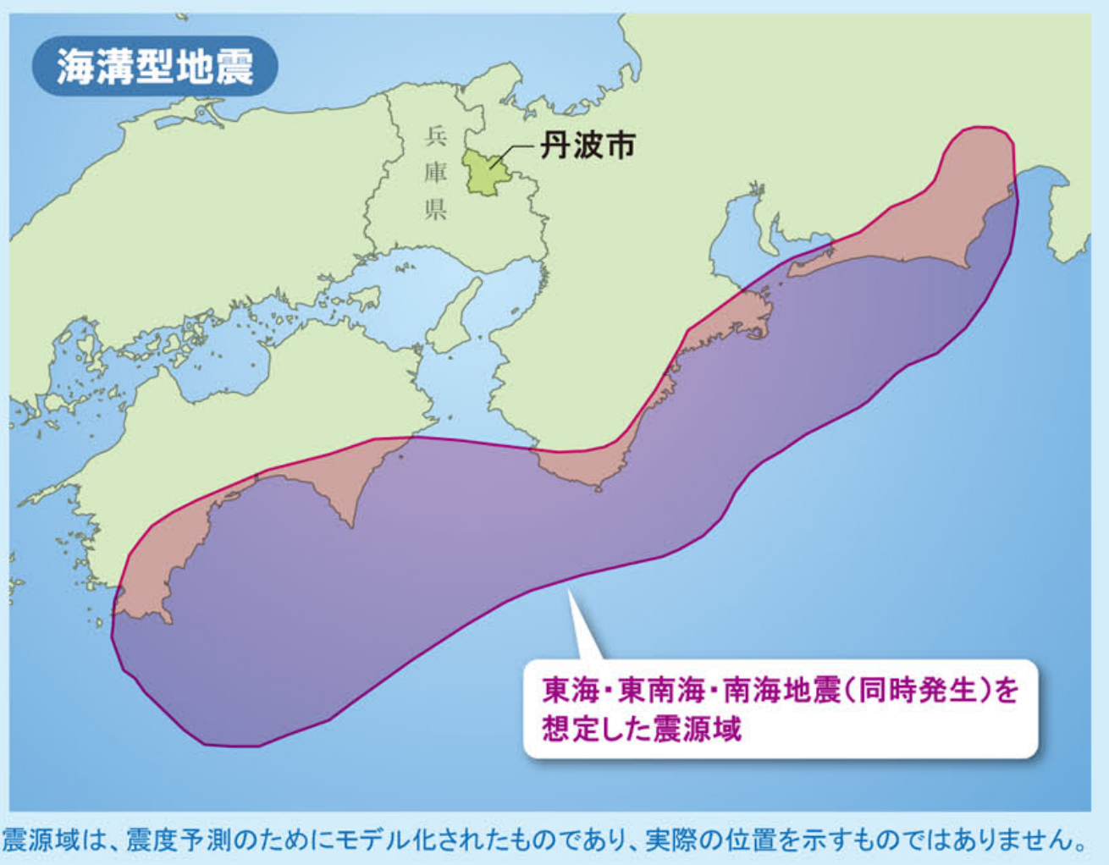
想定地震について

- ●市域に影響を与える地震として、①三峠断層帯地震（山南地域版は山崎断層帯地震）、②御所谷断層帯地震、③東海・東南海・南海地震の3つを想定しています。
- ●お住まいの地域でどのくらいの揺れや建物被害が予想されるのかを確認し、地震対策に役立ててください。
- ●丹波市に震度6弱以上の影響をもたらす可能性のある想定地震は他にもあります。各地の地震災害では、家具の下敷きで亡くなった方が多数おられます。各ご家庭で、家具の転倒防止などの対策をしっかり行ってください。

活断層地震


三峠断層帯
（三峠-京都西山断層帯）
丹波市
京都府
兵庫県
御所谷断層帯
山崎断層帯
（主部南東部・草谷断層）
大阪府

海溝型地震

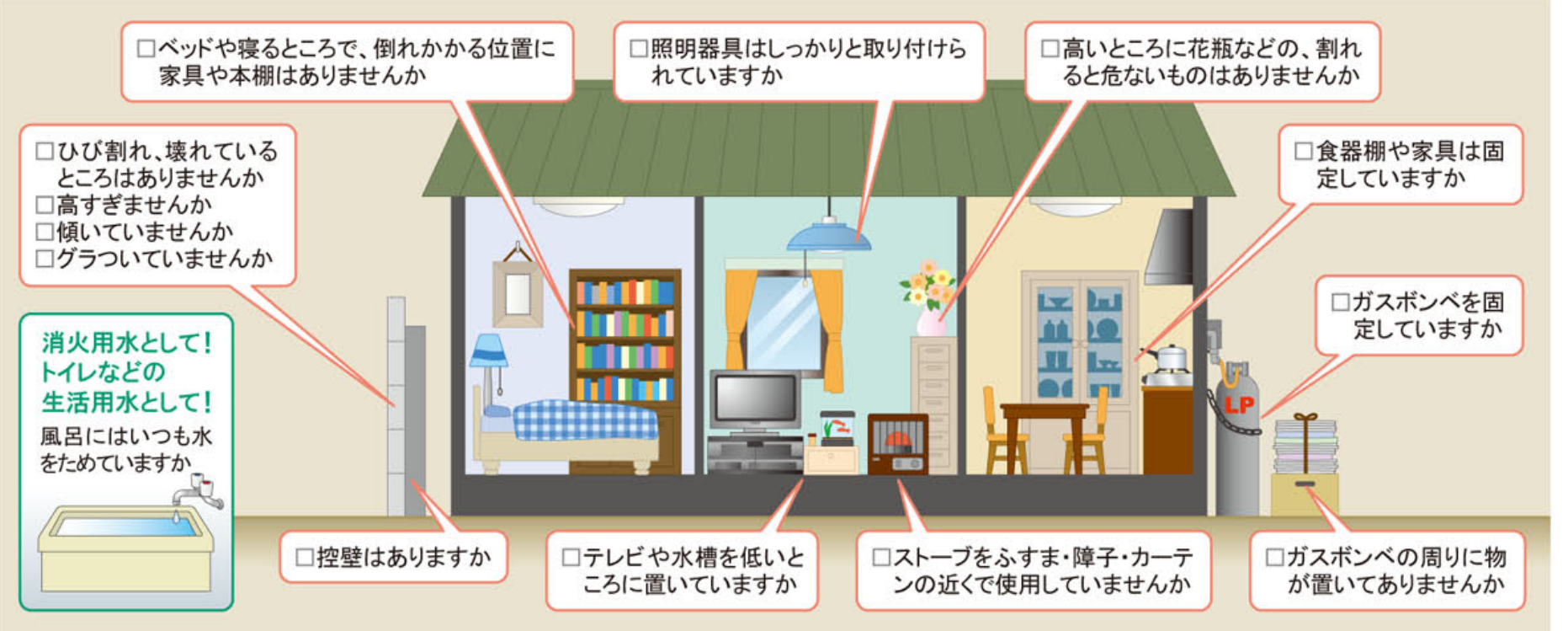


東海・東南海・南海地震（同時発生）を想定した震源域

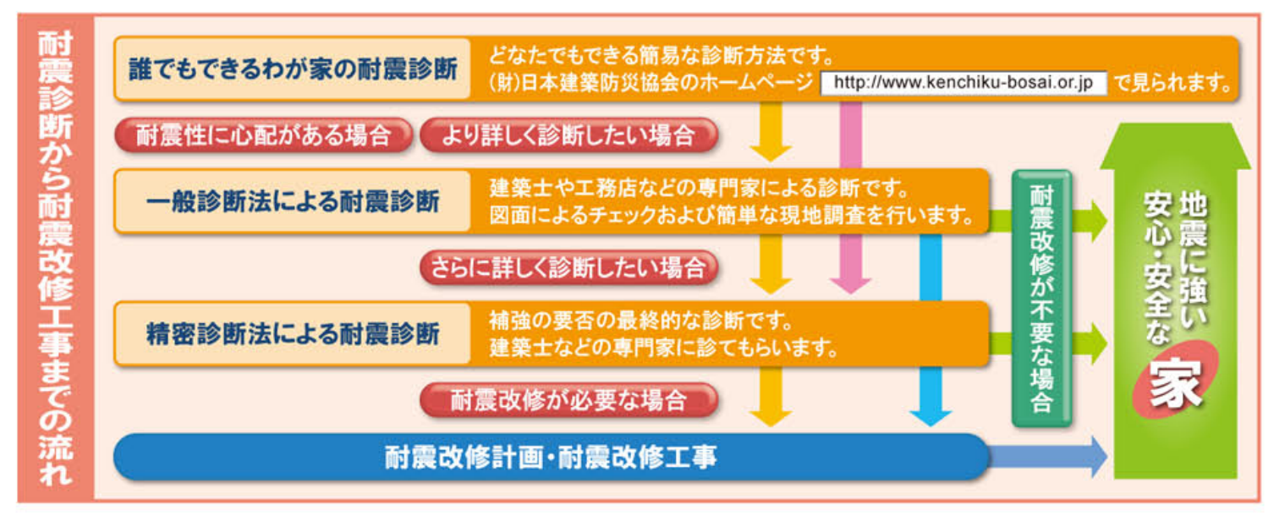
※図で示した震源域は、震度予測のためにモデル化されたものであり、実際の位置を示すものではありません。

地震への備え

■家の内外チェック


□ベッドや寝るところで、倒れかかる位置に家具や本棚はありませんか
□照明器具はしっかりと取り付けられていますか
□高いところに花瓶などの、割れると危ないものはありませんか
□ひび割れ、壊れているところはありませんか
□高すぎませんか
□傾いていませんか
□グラついていませんか
□食器棚や家具は固定していますか
□ガスボンベを固定していますか
消火用水として！
トイレなどの
生活用水として！
風呂にはいつも水をためていますか
LP
□控壁はありますか
□テレビや水槽を低いところに置いていますか
□ストーブをふすま・障子・カーテンの近くで使用していませんか
□ガスボンベの周りに物が置いてありませんか

■進んで耐震診断を行い、補強が必要な箇所の耐震改修を実施しましょう！



耐震診断から耐震改修工事までの流れ

誰でもできるわが家の耐震診断　どなたでもできる簡易な診断方法です。（財）日本建築防災協会のホームページ http://www.kenchiku-bosai.or.jp で見られます。

耐震性に心配がある場合　より詳しく診断したい場合

一般診断法による耐震診断　建築士や工務店などの専門家による診断です。図面によるチェックおよび簡単な現地調査を行います。

さらに詳しく診断したい場合

精密診断法による耐震診断　補強の要否の最終的な診断です。建築士などの専門家に診てもらいます。

耐震改修が必要な場合

耐震改修計画・耐震改修工事

耐震改修が不要な場合

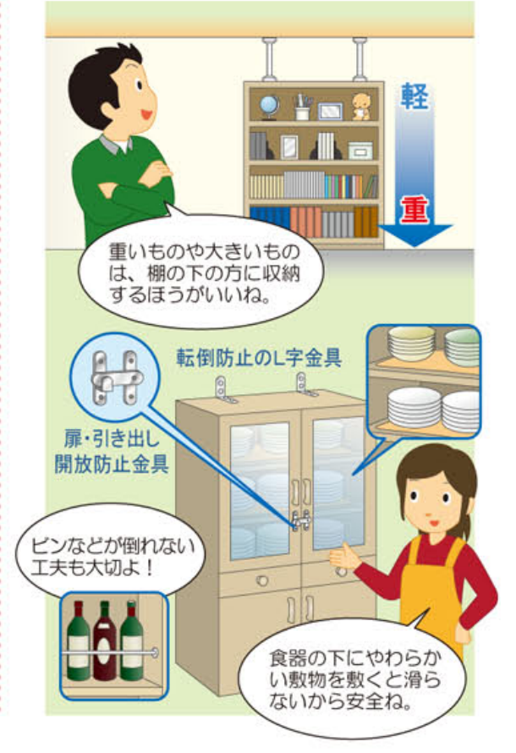
地震に強い安心・安全な家

昭和56年5月以前に建てられた住宅は、ぜひ耐震診断を行って下さい。昭和56年6月以降に建てられたものでも、ご心配なら、耐震診断を行うことをお勧めします。

丹波市建設部都市住宅課でも、耐震に関する相談を受け付けています。

■家具などの対策

地震で建物が倒壊しなくても、大きな家具の転倒、家電製品の落下、ガラスの飛散などにより大きなケガをしたり逃げ道をふさがれたりします。新潟県中越地震（平成16年10月）でも、負傷者の約5割は家具類の転倒・落下、ガラスの飛散によるものでした。家具の固定や配置方法の工夫を行い、家の中の安全性を高めておきましょう。

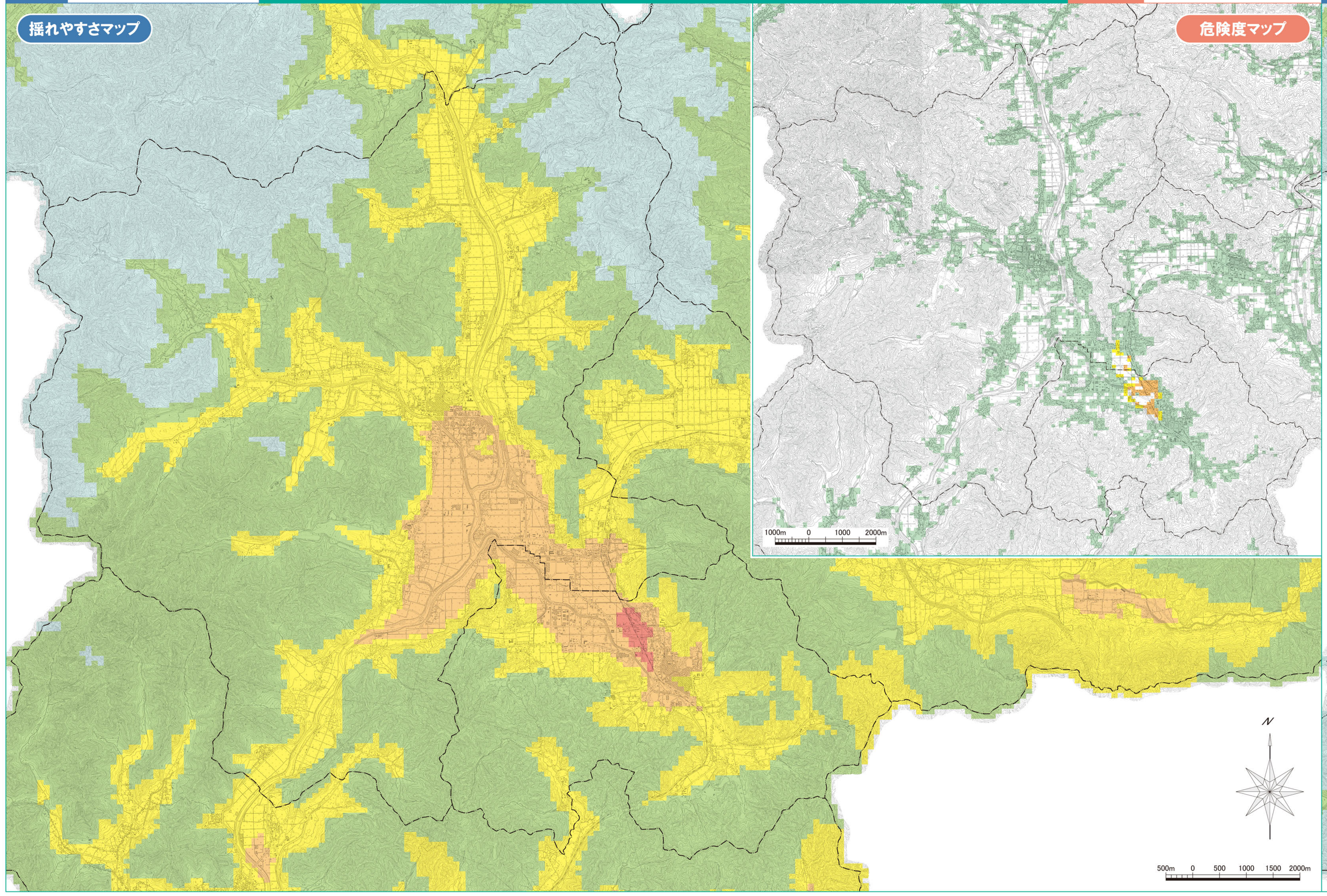

軽
重
重いものや大きいものは、棚の下の方に収納するほうがいいね。
転倒防止のL字金具
扉・引き出し開放防止金具
ビンなどが倒れない工夫も大切よ！
食器の下にやわらかい敷物を敷くと滑らないから安全ね。

御所谷断層帯地震

揺れやすさ（震度）: 震度4以下　震度5弱　震度5強　震度6弱　震度6強

建物の全壊率（危険度）: 家屋なし　～3%　3%～5%　5%～10%

低 ← 建物被害危険度 → 高

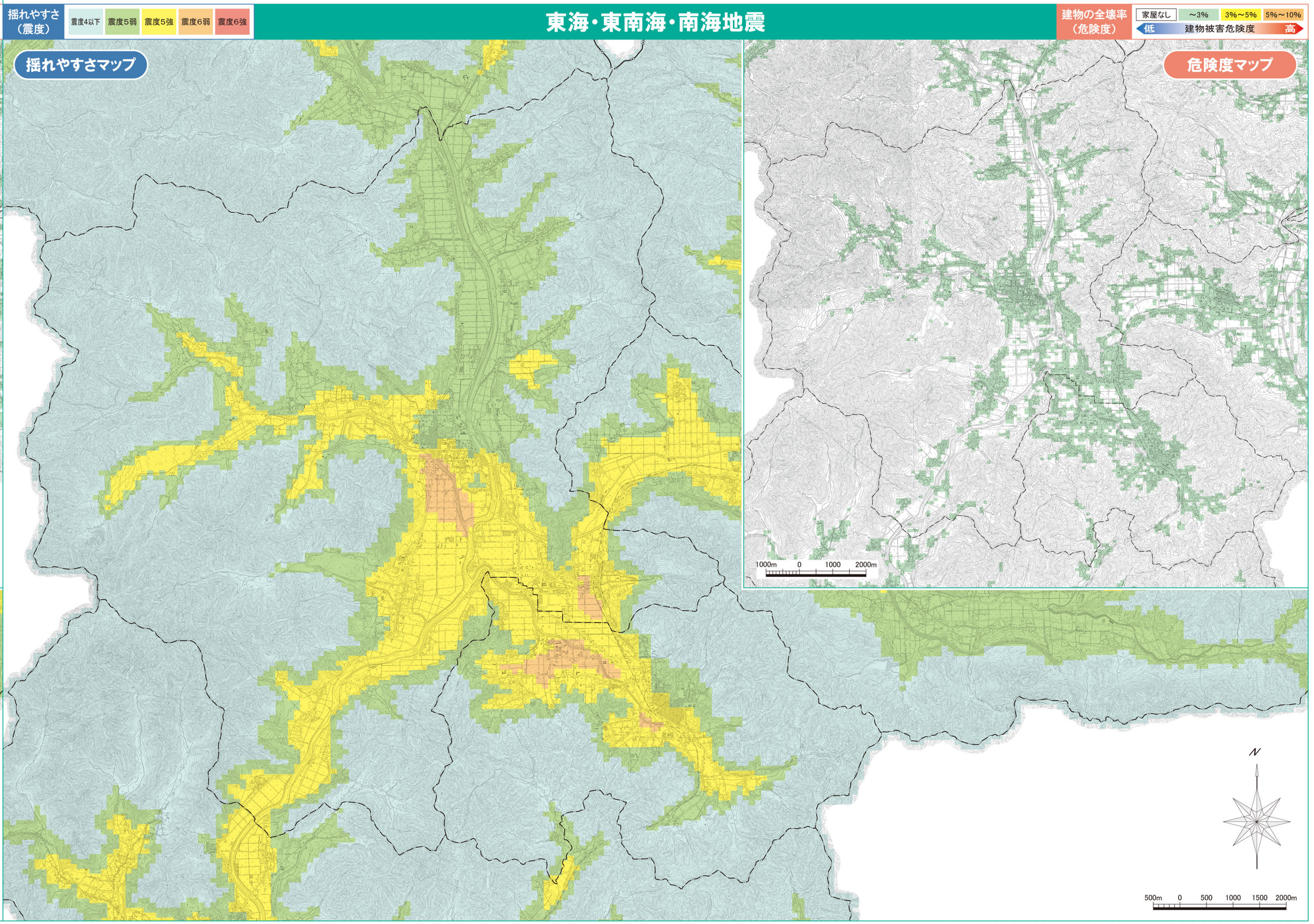

揺れやすさマップ
危険度マップ
1000m 0 1000 2000m
N
500m 0 500 1000 1500 2000m

東海・東南海・南海地震

揺れやすさ（震度）: 震度4以下　震度5弱　震度5強　震度6弱　震度6強

建物の全壊率（危険度）: 家屋なし　～3%　3%～5%　5%～10%

低 ← 建物被害危険度 → 高


揺れやすさマップ
危険度マップ
1000m 0 1000 2000m
N
500m 0 500 1000 1500 2000m

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業複、第632号）